



地球温暖化と気候変動

宇部市市民環境部 部長 原田 俊宏

4月から市民環境部に着任しました原田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。さて、昨年10月に菅首相が2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわちカーボンニュートラルを目指すことを宣言されました。本年4月には2030年までの温室効果ガスを46%削減するとの新たな目標も示されたところです。

地球温暖化は、二酸化炭素などの温室効果ガスが主な原因であると考えられていますが、この問題に関しては、多くのメディアで取り上げられ、国民の中でも興味深いテーマであるとは思いますが。しかしながら、地球温暖化が我々の暮らすこの地球にどのような悪影響を及ぼしているか具体的には日々の生活の中ではピンと来ていない人も少なくないでしょう。

最近ではこれまで経験したことのない災害が全国各地で発生しています。夏には各地で多発する豪雨や熱中症の増加、冬には降雪地帯の雪不足により観光業に大きなダメージを与えています。その他にも生態系への影響や海面上昇など地球温暖化が気候変動に及ぼす影響は様々あると言われてしています。先日には、気候変

動に関する政府間パネル（通称：IPCC）の報告の中で、「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」と従来より踏み込んだ強い表現で断定されています。文明の進化が今度は私たちの生活を脅かすものとなり、次世代へ豊かな地球環境を引き継げるかどうか瀬戸際に立たされているのかも知れません。

現在、世界中で、新型コロナウイルスという未知のウイルスとの闘いの真っ只中にある我々は、地球温暖化という強大な「敵」にも対峙していく必要があります。これらは、行政だけでどうにかなる問題ではありません。企業や市民、行政などがその枠にとらわれず、他人への思いやり、地球からの恩恵などを再度見つめ直し、一人ひとりに何ができるのか自問自答することが必要です。今こそ、私たちの本当の力量が試されているのかも知れません。

本市は今年、市制施行100周年を迎えますが、先人達から受け継いだ住みよい環境を地域固有の財産と捉え、次世代に繋いでいくことが、私たちの役目と感じています。

イベントのお知らせ

第1回ESD研修会

日時：2021年10月9日（土）15:00～17:00
場所：宇部市上宇部ふれあいセンター3F大会議室
テーマ：宇部市のSDGs政策と参画団体のとり組み

I. 話題提供『宇部市のSDGs政策』（仮題）
宇部市総合戦略局政策企画グループ 中村 淳一氏

II. 活動紹介(3件)

1. 宇部市教育委員会学校教育課
課長 原 浩一郎 氏
2. 宇部志立市民大学環境・アート学部OB会
会長 山根 好子 氏
3. 宇部環境国際協力協会
会長 松田 博 氏

第2回環境サロン

日時：2021年11月12日（金）18:00～20:00
場所：宇部市新川ふれあいセンター 2F大会議室
テーマ：終活・空き家片付けごみを考える
話題提供：

- (1) 樋谷 直美 氏（生前整理アドバイザー）
「終活ごみの生前整理について」
- (2) 山本 守元 氏（ミツヤ工業（株））
「空き家ごみの現状と課題」

上記いずれのイベントも、Zoom（WEB）を併用した開催を予定しています。参加ご希望の方は、氏名、電話番号、対面・Zoomの別を記載の上、開催日の2日前までに、学習館事務室（ubekuru@gmail.com）にご連絡ください。

なお、申し訳ありませんが、参加にあたり資料代として、それぞれ研修会500円、環境サロン200円を申し受けます。

宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

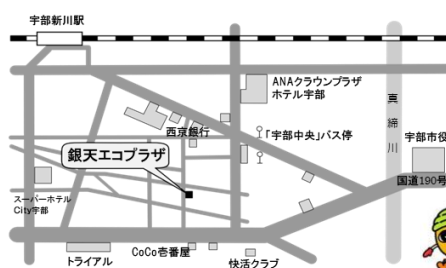
宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～17時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>

休館日 土・日、年末年始（12月29日～1月3日）



NPO法人うべ環境コミュニティー

当社は建設コンサルタントであり、その顧客は社会インフラの整備を目的とする国・県・市などの行政や、電力会社などの公益企業、建設会社が中心です。

活躍する分野は、道路、河川・砂防、橋梁維持・補修などと幅広く、また、地質、地盤、防災、環境などインフラ整備に係る技術分野にまたがっています。

社会資本整備を進める中で、公共施設を「造る」際には、周辺環境に及ぼす影響を最小限に抑える技術が求められており、公共施設の計画や設計段階から、事業期間の保全措置、供用後の事後評価までの全てのプロセスにおいて、建設コンサルタントが環境への配慮を具現化する役割を担っているものと考えています。

なお環境課は、土木・農林水産事業などにおいて、水環境や騒音・振動を中心とした環境保全計画、環境監視（調査・測定）、自然環境保全をはじめ、土地・家屋などの補償調査を担っています。

このような業務において、当社は問題解決のための提案やアドバイスを発注者に対して行い、自然と調和し安全で快適に暮らせる地域づくりに貢献しているところです。

以下に、当社が担当しました高規格道路のトンネル工事に対する河川やため池の水質監視をはじめ、海域における自然再生事業を例に示します。

最後に、当社は企業活動において環境負荷の低減に努め、SDGs達成に向け、ISO14001を通じて、積極的な継続改善に取り組んでまいります。



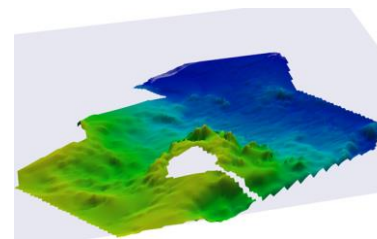
NATM工法（山岳工法）によりトンネル工事を行っています



調査船に測定器を搭載し、流向・流速及び水深を測定



上流でトンネル工事が行われており、水質検査により河川の環境基準や農業用水の基準値との比較を行う



海底地形を3Dで表現し、海藻類育成の適地判定を行います



潜水により海藻類や魚介類を確認

うべ環境コミュニティ会員  コラム 

宇部市環境衛生連合会の活動

副会長 新谷 弘昌

皆さんご存知でしょうか、「宇部市環境衛生連合会」組織について少しご説明します。

同連合会は1956年2月に設立され、65年の歴史を有します。現在、各校区に対応した24支部があり、支部長は校区によって違いますが、校区内の自治会長及び衛生部長から選出されます。支部長は宇部市環境衛生連合会の理事として、理事会で活動方針を決定し、総会に図り、承認を得ます。その活動方針に基づいて今度は、各支部においてそれぞれの「活動方針」を決めます。

各支部での組織は、支部によって少し違いますが、自治会長・衛生部長・ごみ減量推進委員等が支部の委員になり、環境衛生連合会〇〇支部を構成します。

宇部市環境衛生連合会としての「活動」は主に「宇部市廃棄物対策課」の指導のもと、「ゴミの減量化」の推進に向けて市民の方々への啓発活動を行うことが主な活動であり、「ダンボールコンポストの推進」、「各支部における研修」、「地区における環境整備の促進等」を掲げ、各支部にその活動の協力をもとめます。

次に「各支部」においては「市連合会」が掲げる「活動方針」に従い、各支部の実情に合った活動目標を立て、実施することになります。

各支部の「活動」は、「ポイ捨てゴミの回収」「河川・海岸清掃」「環境整備」「ゴミ分別収集の周知徹底」等を「各自治会」にお願いし、自治会長・衛生部長・ゴミ減量推進員の協力のもと自治会の会員の皆さんに「実践」して頂くこととなります。

この「実践」が、「宇部市環境衛生連合会」を支えてくださっていることも強調しておきます。

まだまだ、われわれの活動も十分ではありませんが、市民の皆様方の協力をお願いします。

最後に、2016年度より私もうべ環境コミュニティの会員となり、中川河口や黒崎海岸の清掃等に協力しつつありますが、こういった地道な活動が「宇部市」の環境行政の一助になればと思っています。



宇部市環境衛生連合会☆50周年
2005年10月30日